

茂原市国土強靱化地域計画

令和2年8月

茂 原 市

目 次

基本計画編

第1章 総論	1
1 計画策定の趣旨	1
2 本市の地域特性	1
3 計画の位置づけ	3
4 計画の構成	4
5 地域防災計画との差異	4
6 策定の基本的な進め方	4
7 強靱化する上での目標の明確化	5
第2章 リスクシナリオ等の設定と脆弱性の分析・評価	6
1 リスクシナリオ及び強靱化施策分野の設定	6
2 脆弱性の分析・評価	8
第3章 リスクシナリオへの対応方策	9
1 大規模自然災害が発生したときでも人命の保護が最大限図られる	9
2 大規模自然災害発生直後から救助・救急、医療活動等が迅速に行われる	13
3 大規模自然災害発生直後から必要不可欠な行政機能は確保する	16
4 大規模自然災害発生直後から必要不可欠な情報通信機能は確保する	17
5 大規模自然災害発生後であっても、経済活動（サプライチェーンを含む。）を機能不全に陥らせない	18
6 大規模自然災害発生後であっても、生活・経済活動に必要最低限の電気、ガス、上下水道、燃料、交通ネットワーク等を確保するとともに、これらの早期復旧を図る	20
7 制御不能な二次災害を発生させない	22
8 大規模自然災害発生後であっても、地域社会・経済が迅速に再建・回復できる条件を整備する	26
第4章 対応方策の重点化と計画の進捗管理	28
1 対応方策の重点化	28
2 計画の進捗管理	29
[別記：脆弱性の分析・評価の結果]	30

アクションプラン編

第1章 リスクシナリオごとの事業	50
1 大規模自然災害が発生したときでも人命の保護が最大限図られる	50
2 大規模自然災害発生直後から救助・救急、医療活動等が迅速に行われる	63
3 大規模自然災害発生直後から必要不可欠な行政機能は確保する	67
4 大規模自然災害発生直後から必要不可欠な情報通信機能は確保する	67
5 大規模自然災害発生後であっても、経済活動（サプライチェーンを含む。）を機能不全に陥らせない	68
6 大規模自然災害発生後であっても、生活・経済活動に必要最低限の電気、ガス、上下水道、燃料、交通ネットワーク等を確保するとともに、これらの早期復旧を図る	69
7 制御不能な二次災害を発生させない	71
8 大規模自然災害発生後であっても、地域社会・経済が迅速に再建・回復できる条件を整備する	73
第2章 施策分野ごとの事業	76
1 教育文化	76
2 健康福祉	76
3 生活環境	77
4 都市基盤	78
5 産業振興	79
6 市民自治	79
7 行政機能（危機管理・消防）	79
[用語解説]	82